|  |  |
| --- | --- |
| 第15回災害対策委員会議事録 | |
| 日　時 | 平成30年5月27日（日）13：30～16：00 |
| 場　所 | 榊原病院　第一研修室 |
| 参加者 | 辻（委員長）、長谷川（四日市ブロック）、福澤（津ブロック）、岡（松阪ブロック）、西村（熊野ブロック）、三上（オブザーバー）  欠席：東（桑名ブロック）、竹本（鈴鹿ブロック）、藤岡（伊賀ブロック）、高柳（伊勢ブロック） |
| 議　題 | １．今年度の目標について  ２．災害対策委員会「活動報告」  ３．今年度の活動（次回研修会）について  ４．その他 |
| 議事内容 | １．今年度の目標について  　初年度（平成28年度）は、災害対策委員会の「災害対策計画」を作成。平成29年度は、研修会「HUGを使って避難所を体感してみよう！」を実施。今年度以降の目標を検討していく必要がある。    ２． 別紙、災害対策委員会「活動報告」　三上さんより  　・当委員会は14回の開催実績がある。平成29年度は計4回。  　・平成29年度の取組内容  ①自殺予防研修会のへの参加  ②災害対策研修会の開催  ③災害対策委員の連絡体制・連携強化→メーリングリスト+LINEグループ作成、懇親会  　・平成30年度の取組予定（案）  　　①災害対策委員会の開催  　　②P協会ホームページの「災害対策ページ」を運用  　　③災害対策研修会の開催  　・平成29年度研修会「HUG」アンケート結果について  　　HUGの貸し出しについての質問があったが、その後特に問い合わせはなかった。  　　医師協会でもHUG研修の案内があった。  　・P協会 総会・実践報告会・例会アンケート結果についてで  　・桑名の障害者施設（身体系）で、避難所をどのように運営していくかを考えていくという  取り組みをするらしい。新聞に掲載されていた。  ・今年度も自殺予防研修会を開催予定。テーマは、「支援者支援」。    ３．今年度の活動について  ＜次回研修会について＞  ・避難所等で精神症状が悪化したケースの対応について研修会を計画する？リアルな設定を考  えて、グループで話合うのはどうか。テーマは、「災害事例検討会」？事例は、2、3準備す  る必要ある。模擬回答ではないが、話し合う視点やポイントを伝える必要はある。  ・平成32年3月に研修会を開催できるように準備していく。  ・シチュエーション：避難所（小学校の体育館・教室等）での対応。発災から二週間経過した  時点。  ・どのような立場での支援？：三重P協会から派遣されてきた精神保健福祉士として援助。  ・例えば…避難所での精神症状悪化（他害）ケース。家にひきこもって、避難所に来ないケー  ス。避難所での自傷行為への対応。母子家庭で母親が受傷し、子一人で避難所へきたケース、  避難所で軽犯罪を起こしたケース、「連日働き詰めの職員がいる。代わりの職員がいない。」  など。  　・災害対策委員でロールプレイをする？  　・精神版のHUGを作る？まずは研修をしてみて、そこで出た意見を集約して作成。HUGを  作って、その内容を年々グレードアップしていくのも一案。  ・まず今年度は精神版HUGを作る→実際委員会の中で使ってみて、手直ししていく→来年度  平成32年3月に研修会が実施できるように準備。  ・手直しが必要なため、カードは厚紙コピー作成し最終的にラミネート？  ・実在しそうな事例を各自でいくつか考え、次回の委員会で発表すること。その際、グループ  で話し合うポイントも考えておく必要あり。  ・P-HUGなど、名称も考えていこう。  ・次回議題  次回研修会について、上記のシチュエーションでいいかどうか本日欠席のメンバーの意見も  踏まえ、再検討する。各自考えた事例を発表し、選定する。  ４．その他  　・HP「災害対策のページ」を整えたい。年度末に伊賀昴会の田村さんにお越しいただけるよ  うに調整する。  ・実践報告会の中で、活動報告をする方向で進める（次回は12月）。三上さんがたたき台を作  成。発表は全員で、メインで発表する人を次回決める。  ・委員の入れ替わりがあるため、メーリングリストのメンバーも変えていく必要がある。 |
| 次　回 | 平成30年9月1日（土）13：30～　榊原病院 第一研修室 |